

報道関係者各位

2026 年 2 月 9 日  
S W C C 株 式 会 社

## 産業用巻線事業の構造改革について

### ～ 山元工場閉鎖および販売体制再編 ～

SWCC株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員：小又 哲夫、以下「当社」）は、産業用巻線の事業構造改革として、生産拠点の再構築のため山元工場（宮城県亘理郡山元町）を閉鎖し、さらには、商流をグループ会社である株式会社 SDS（以下「SDS」）に集約することによる販売体制の再編を決定しましたのでお知らせいたします。

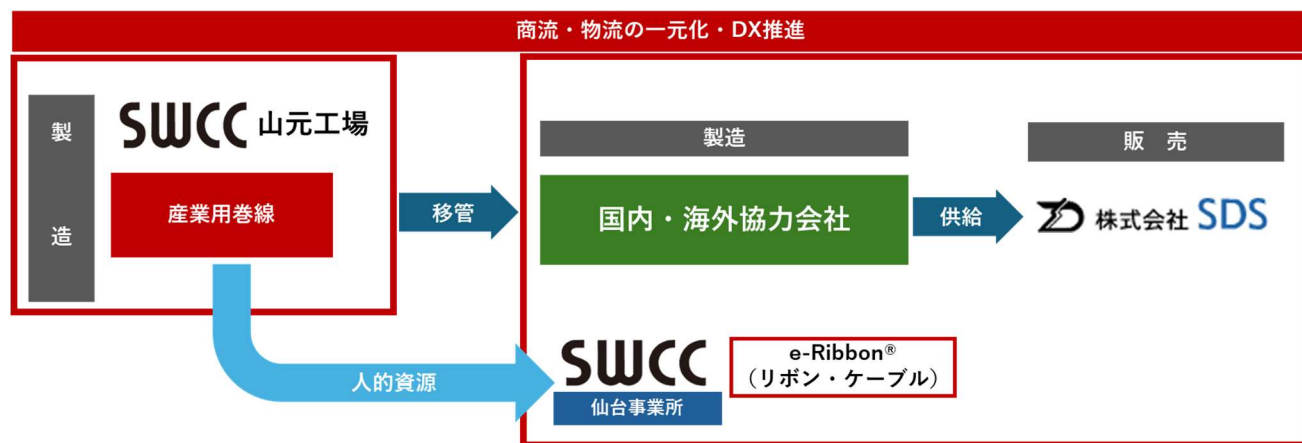
#### ■事業構造改革の目的と内容

当社は、2019 年より経営の基軸として R0IC を導入し、事業ポートフォリオ改革による収益力の向上を推し進めており、その一環として、産業用巻線事業の構造改革を実行することといたしました。

産業用巻線は、小型モーターや変圧器、電子基板のコイルなど各種産業機器の基幹部品として不可欠であり、高い耐熱性や絶縁性が求められています。幅広い領域で使用されるため、市場全体は安定した需要がある一方、価格競争の激化や原材料価格の高騰などにより、事業環境の厳しさが増えています。

こうした状況を受け、生産拠点の再構築として山元工場での生産を、2026 年末までに段階的に縮小・停止し、国内外の協力会社へ随時生産を移管してまいります。これにより、需要変動への柔軟な生産体制と最適なコスト構造を構築し、競争力の強化を図ります。

さらには、販売体制の再編のため、グループ会社である国内総合商社の SDS へ商流を集約・一元化し、営業体制の最適化と DX によるリードタイム短縮・顧客サービス向上を図ってまいります。SDS の多様な販売チャンネルおよび EC 通販サイト「蛙屋」の利便性を活かした独自の販売力を通じて、2030 年までに産業用巻線事業の売上高約 60 億円（2024 年実績比約 2 倍）を目指し、収益力の向上を推進してまいります。



## ■事業構造改革による効果

山元工場の閉鎖による人的資源の再配置として、同じ宮城県内にある仙台事業所（宮城県柴田郡柴田町）で製造している海外データセンター向け間欠接着リボン（e-Ribbon®）の製造部門へとシフトし、既存事業の構造改革を進めるとともに、成長を担う事業分野への拡大を図ってまいります。

なお、本件を含む一連の事業構造改革によって、年間で4億円程度の収益改善効果を見込んでおり、さらなる事業運営の効率化と供給体制の強化を通じ、競争力の向上と顧客価値の最大化を目指して取り組んでまいります。

今後も、当社は事業環境の変化を的確に捉えながら、事業ポートフォリオ改革を進め、企業価値の向上に努めてまいります。

以 上

### 〔参考／関連リリース〕

ベトナム SACOM と日本総代理店契約を締結

～汎用巻線事業の競争力強化に向けて～

[https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news\\_7049.html](https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news_7049.html)

モビリティ・半導体領域製品をTOTOKUへ統合

～ヒータ線事業、コンタクトプローブ事業の経営効率向上～

[https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news\\_7025.html](https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news_7025.html)

汎用光ファイバ関連製品を富士電線に集約

～光関連事業のグループ内再編による収益力向上～

[https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news\\_7321.html](https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news_7321.html)

リボン状光ファイバ心線『e-Ribbon®』増産投資について

～旺盛なデータセンター需要の増大に応える生産能力増強～

[https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news\\_6939.html](https://www.swcc.co.jp/jpn/news/detail/2025/news_6939.html)

### 【本件に関するお問い合わせ先】

SWCC株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報グループ  
[inq-sonota@swcc-g.com](mailto:inq-sonota@swcc-g.com)